

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	14,071,827	17,046,827
振替預金(会費)	4,951,539	5,846,139
振替預金	1,056,600	1,650,900
普通預金	8,063,688	9,592,042
未収金	183,750	63,750
前払金	2,542,450	2,290,469
合 計	16,798,027	19,400,300
未払金	2,870	468,766
前受金	349,000	323,000
前受会費	4,824,700	4,590,900
預り金	35,852	43,632
未払法人税等	0	70,000
合 計	5,212,422	5,496,298
次期繰越収支差額	11,585,605	13,904,002

3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 学術集会事業収入のうちFLUCOME2013収入において、決算は予算より増加した。これは、参加者が当初の見込みより増えたことによる。
- (2) 学術集会事業収入のうち講習会収入において、決算は予算より増加した。これは、講習会の開催回数が見込みより1回多く3回開催したため、全体の参加者総数が当初の見込みより増えたことによる。
- (3) 学術集会事業費支出のうちFLUCOME2013支出において、決算は予算より増加した。これは、参加者が当初の見込みより増えたことに伴い、論文集、アブストラクト印刷費および諸経費が増加したことによる。